



おがたっ子



《めざす子ども像》

「元気に登校、笑顔で下校」

【自立】粘り強く挑戦する子

【敬愛】自他を大切にする子

【創造】考えを持ち表現する子

【緒方学園教育目標】 「未来に向かって生きる力」を備えた 緒方っ子の育成



2月版 文責：佐藤 公彦 TEL0974-42-3150 Fax0974-24-4020

緒方の米のおいしさを広げる 5年おにぎりに挑戦！

5年生は日本の農業について学習し、特に安全安心な農業、米作りについて考えてきました。田植え、稻刈りを体験して、稻作の歴史、昔の稻作の様子、ご飯の炊き方から、最近の米不足や米の価格高騰などについても調べてきました。

昨年の5年生は米粉を使った洋菓子作りに取り組みましたが、今年はおにぎりに挑戦しました。研究、調理、試食と改善を重ね、サンドウィッチのような「笑顔おにぎり」、カリカリベーコンとコーンが入った「ベーコンカリカリ焼きおにぎり」、しいたけとかぼすを使った「大分まるごとおにぎり」、火を使わずに手軽に作れる「桜のりかつかぼす」、一口サイズが3種類の「激うま鬼3ズ」の5つができました。どれもすばらしいできばえです。3月にはおうちの方にも試食していただく予定です。



空飛ぶクルマ実証イベント参加

未来の移動手段になるであろう「空飛ぶクルマ」の実証イベントが大野町の県央空港ありました。2人乗り、無人運転の大型ドローンのような乗り物のデモンストレーション飛行に子どもたちは歓声を上げていました。子どもを乗せての飛行はありませんでしたが、機体のシートに座り、そう遠くない未来を想像したようです。「これで旅行ができたらしい」「けがをした人を病院に早く運べる」「タクシーみたいに使えた便り」といった考えも出てきました。



練習の成果を出し切る！

練習すればするほど上達していくなわとび。2学期の終わりから、体育の時間だけでなく、中休みや昼休み、放課後もぴょんぴょん跳ねていました。ジャンプボードを使って、跳躍の感覚や縄の回転速度を上げる練習をする子もたくさんいました。

長縄もだんだん上手になり、みんなのタイミングがぴったりあってきました。2月14日のなわとび大会では、新記録が出て盛り上がっていました。



新しい体育倉庫完成

老朽化し、床が抜ける、屋根が飛ぶなど危険な状態だった鉄棒近くの体育倉庫と一輪車倉庫が取り壊され、運動場東側に新しい倉庫が完成しました。森林環境譲与税を財源として、地域産木材を使用して建てられました。新倉庫にはテントや杭、一輪車などが置かれ、西側のプレハブ倉庫にはボールなど体育関係用具を収納しています。

